

## 豊橋技術科学大学平成 16 年度同窓会役員会議事録

於 物質工学系会議室 (B-208)

平成 16 年 4 月 22 日 15 : 00 ~

出席者 ; 後藤会長 (INAX)、佐藤副会長 (5 系)、感本 (1 系)、三好、森田、武田 (2 系)、村上、稲田、桶 (3 系)、福田、野口 (4 系)、大北、武藤 (5 系)、谷、細田 (6 系)、加藤 (7 系)、山田 (岐阜高専)、南 (8 系)

### 平成 15 年度活動報告

#### 会計

野口役員 (3 系) より平成 15 年度の予算執行状況の説明がなされた。特に、各系への分配金が予算と異なる理由について、入会金の二重払いがあったことに関して説明がなされ、役員承認を得た。

#### 事務局

感本役員 (2 系) より、平成 15 年度同窓会全体の活動に関して詳細な報告がなされた。特に例年と異なる活動に関して以下、4 点が説明された。1) 桃山学院大学同窓会からのアンケート依頼に関する対応、2) 大学法人化と再編統合に関する学長との懇談会への同行、3) 新日鉄名古屋爆発事故における同窓生の安否に関わる調査と情報提供、4) 知的財産本部への宛名ラベルの提供。3) に関連して、会員の情報に関して必要な場合は迅速に対応できるようにすることで、合意した。4) に関して手順資料が配布された。

#### 会報編集

2 系役員より、No.21 同窓会会報の発行 (9000 部) に関する報告がなされた。担当役員の尽力により、大幅に出版費用を削減できた旨、報告がなされた。

#### 援助活動

稲田役員 (3 系) より、奨励金に 1 件、援助金に 3 件の応募がありそれぞれ一件ずつ (奨励金 : サッカー部、援助金 : 男子バレーボール) に交付したことについて説明がなされた。その他、技科大祭、卒業記念パーティーの援助について報告がなされた。

## 総会・役員会

定期役員会に加え（４月）臨時役員会（８月）を開催したことについて説明がなされた。また、本年度は総会開催予定の年であることが申し送られた。

## HP 担当

細田役員（６系）より、昨年度更新したコンテンツについて説明がなされた。また、各系の HP の更新手続きに関して詳細な説明がなされた。これに付随して、各系の頻繁なコンテンツ更新につとめるように、後藤会長からの提案があった。

## 名簿

加藤役員（７系）より、各系からデータ提供を受け最新の名簿データを更新したことについて説明がなされた。また、知的財産本部へのデータ提供のために臨時のデータ回収を行った旨、説明がなされた。

## 平成 16 年度活動計画について

今年度の各系役割分担について、１系：会計、２系：援助、３系：総会・役員会、４系：会報、５系：名簿、６系：事務局、７、８系：HP・ML を担当することとした。

## 会計

各担当活動計画に基づき今年度の予算案を担当者が再度、検討することになった。

## 会報活動

本年度も例年通りの予定で会報（No22）を作成することが報告された（発送は１２月を予定）。発行部数に関して議論がなされ、本年度は 9000 部で発注することとした。発送作業に関わる業務は、昨年同様に各系で担当することが確認された。

## 援助活動

クラブ援助に関しては昨年同様に公募とすることが確認された。昨年までは、「技科大祭援助」として別枠にて学友会に援助を行ってきたが、今年度からは学友会も含め全てを公募

とすることが提案され、承認された。これに伴い名称を「学生活動援助」とすることとした。援助に関する総額は30万円とし、一件当たりの交付額、件数は担当役員に一任する事とした。

## 総会・役員会

総会・役員会担当より、次年度4月に役員会を開催することで提案された。尚、次回の総会はH17年度(4月の役員会に合わせる)に開催されることに関して申し送りがなされた。H16年度担当者が開催通知、および委任状を準備し、本年度の同窓会会報に同封し会員に告知することとした。

## 名簿管理

会報発送に先立ち、10月末を目途に各系へ名簿更新を依頼し、最新の住所録を作成することとした。同窓会名簿の発行に関して、発行に伴う問題点等が議論された。後藤会長が後日メールにて意見集約を行った結果、本年度、及びこれ以降の同窓会名簿の発行は行わないことで合意がなされた。

## その他

役員手当てに関して：現状、役員会出席の際、役員手当てとして1000円を支給していたが、遠方からの出席する役員(学外役員)に関しては、別途、交通費を実費で支給することとした。

同窓会活動の活性化について議論がなされた。各系独自の活動を強化することで、同窓会全体の更なる活性化がなされる、との結論に至り、従来の各系への予算配分額の増額を再検討することとした。

会計担当の領収書の保管に関して議論がなされた。同窓会入会金、終身会員費の入金記録控えは、会計担当者が集計、記録した後に、各系へ引き継ぐ。その後の保管期間に関しては各系の担当者に一任することとした。その他の領収書に関しては、前年分と該当年分(2年分)を担当者が保管し、次年度引継ぎ時に担当年度分のみを次年度会計担当へ引き継ぐこととした。

大学への協力に関して議論がなされ、出席役員全員からの意見集約が行われた。その結果、多くの役員から、可能な限り協力していくことで合意がなされた。本学、及び、関連団体

からの、同窓生住所録の提供の依頼があった場合に関しても議論がなされ、依頼文を全役員が良く吟味した上で判断し、適正利用の確約書を依頼主から回収後に、宛名ラベルにて提供することで合意した。この作業に関し発生する費用に関しては依頼主に請求することとした。

以上

文責：5系役員